

【宮城県版】国民健康保険料（税）水準の統一化に向けたロードマップ

資料6別紙

年 度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)
宮城県国民健康保険運営方針	第2期国保運営方針			第3期国保運営方針			第4期国保運営方針			第5期国保運営方針		
			次期方針策定作業			次期方針策定作業			次期方針策定作業			次期方針策定作業
統一の定義及び前提条件	統一に向けた方向性の提示、協議	工程表策定、各部会での集中討議	統一可能な各種項目の協議・検討 → 最終的な統一の定義を決定			【第1段階】納付金ベースによる統一				【第2段階】『宮城県版』保険料（税）水準の統一の実施		
	<p>【第1段階】 納付金ベースによる統一を令和8年度から実施する (毎年度、医療費指数反映係数αを低減し、令和8年度に「$\alpha=0$」とする)</p> <p>【第2段階】 『宮城県版』保険料（税）水準の統一を令和12年度から実施する (統一可能な各種項目の検討・協議を進め、令和7年度までに本県における最終的な統一の定義を決定する)</p>											

◆ 統一に向けた本県における課題整理

課題	内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
課題1	納付金算定における医療費指数反映係数 α の取扱い	医療費指数反映係数 α の通減	$\alpha=0.5$	$\alpha=0.4$	$\alpha=0.3$	$\alpha=0.2$	$\alpha=0.1$	$\alpha=0$					
		α の低減に係る納付金増への対応策	特別交付金（3号分）による交付 ※ $\alpha 6$ 以降の交付の在り方及び終期については、引き続き検討										
課題2	納付金の算定対象	出産育児一時金及び葬祭費	「算定対象」として検討	算定方法の検討（基礎額及び件数）			算定対象（共同負担）						
		上記以外の対象項目（地方単独事業減額調整分、保健事業費、独自減免等）	課題整理・検討		算定対象とする項目の決定 算定方法の検討		【宮城県版の統一】に向け、引き続き算定対象とする項目の整理・検討						
課題3	個別公費の取扱い	市町村ごとに交付される個別公費の取扱い（保険者努力支援交付金（取組評価分）等）	個別公費ごとの課題整理・検討		算定対象とする項目の決定 算定方法の検討		【宮城県版の統一】に向け、引き続き算定対象とする項目の整理・検討						
課題4	収納率格差の取扱い	標準的保険料（税）収納率の設定 受容される保険料（税）収納率格差の設定	国保運営連携会議及び部会における検討				【宮城県版の統一】に向け、引き続き国保運営連携会議及び部会における検討						
			収納率向上に向けた取組（収納率向上アドバイザー事業、研修事業 等）										
課題5	賦課根拠（種別）、保険料（税）算定方式及び応能・応益割合	保険料（税）算定方式	3方式（所得割・均等割・平等割）										
		賦課割合の統一化	課題整理・検討			保険料（税）率統一に向けた具体的な設定の考え方、設定方法等の検討							
		賦課根拠（種別）	要検討事項										
課題6	各種事務の標準化	限度額認定の指針 高額療養費の支給申請手続の簡素化 出産育児一時金及び葬祭費の支給事務 被保険者への広報事業 第三者求償の取組 一部負担金減免及び徴収猶予	国保運営連携会議及び部会における検討				【宮城県版の統一】に向け、引き続き国保運営連携会議及び部会における検討						
		短期被保険者証・資格証明書の交付に関する指針 滞納処分執行停止に関する指針 保険料（税）の減免基準 保険料（税）収納対策の共同化	統一可能なものから順次実施										
課題7	医療費適正化対策	医療費水準の標準化・均てん化 医療費適正化インセンティブに係る確保策 海外療養費の適正化 あはき審査会の設置	国保運営連携会議及び部会における検討				【宮城県版の統一】に向け、引き続き国保運営連携会議及び部会における検討						

